



中能生小だより

～教育目標 学びあい 助けあい 鍛えあい～

令和6年9月6日
糸魚川市立中能生小学校
令和6年度 No. 5



学校評価アンケート（1学期）の結果 ありがとうございます

1学期末に、保護者の皆様から回答していただいた学校評価に関わるアンケートの結果（一部抜粋）を見
児童分と合わせてお伝えします。①②③④はグランドデザインに明記した評価項目及び目標値です。〈成果・
課題〉〈方策〉は、校内学校評価委員会で話し合い、今後、全職員で取り組むことにした内容です。

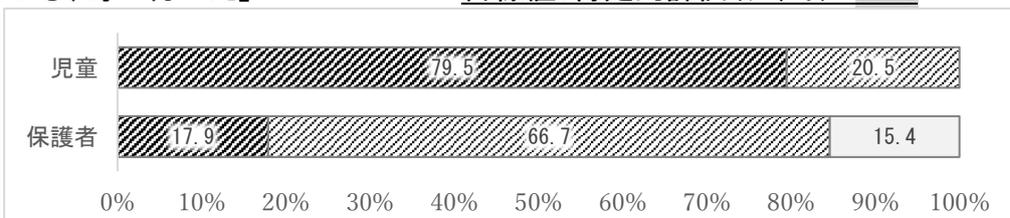
教育目標「学びあい」 ～進んで 分かりやすく表現する子～

☒ア.とてもそう思う ☒イ.そう思う ☐ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

①「学習したことが分かる、身に付いた」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 90%

児童 100.0%◎

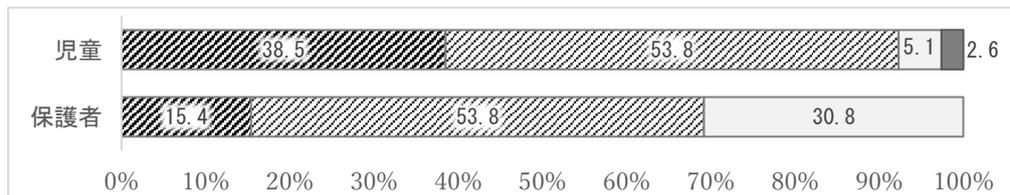
保護者 84.6%△



②「進んで考えわかりやすく伝えた」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 92.3%◎

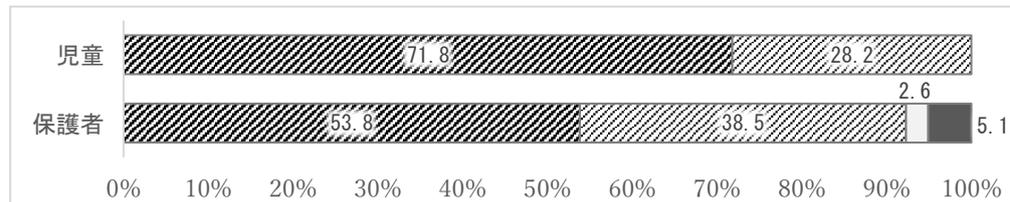
保護者 69.2%▲



③「学年×10分+必要な家庭学習」と「家庭読書」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 94.9%◎

保護者 74.4%▲



<成果・課題>

- 児童にとって分かりやすく意欲的に取り組める授業の工夫が成果につながった。
- △「進んで考えわかりやすく伝えた」項目において、児童と保護者の評価結果に大きな差があった。
- △②と③の項目において、保護者アンケートの結果が目標値に達しなかった。

<方策>

- ・学校や家庭で自分の考えや思いを伝え合う場の設定を工夫するとともに、学校での学習の様子をお便り等で情報発信し、児童の頑張りを保護者に伝えられるようにする。
- ・学校のことや学習のことを親子で会話したり、家庭で作文等を読んだりする場が増えるような課題を工夫する。
- ・児童が進んで家庭学習に取り組めるように、自主学習の仕方や手本を掲示し、活用していく。

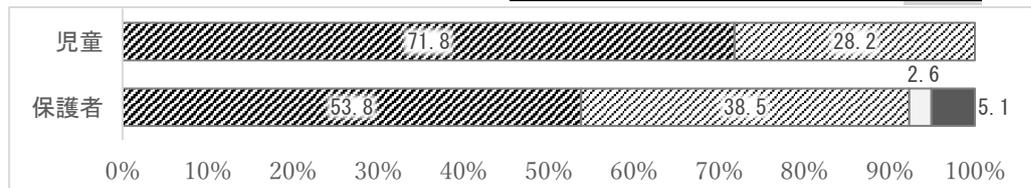
教育目標「助けあい」 ～相手を思いやり 進んで考動する子～

☑ア.とてもそう思う ☑イ.そう思う □ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

①「学校に行くことを楽しみにしている」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 100%

児童 100%◎

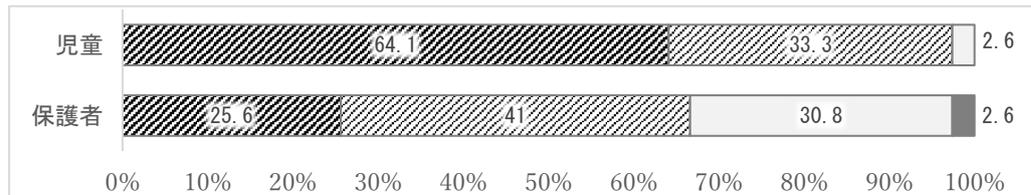
保護者 92.3%△



②「進んで挨拶や返事をしている」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 94.9%◎

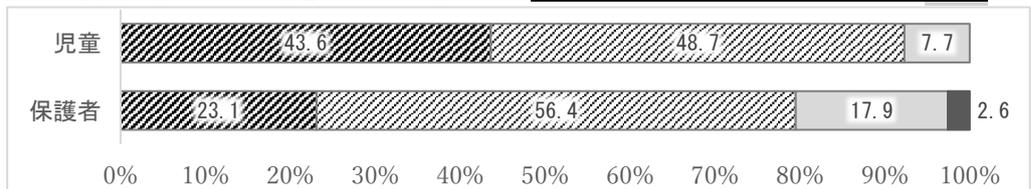
保護者 66.7%▲



③「相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動をしている」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

児童 97.4%◎

保護者 79.5%△



<成果・課題>

○児童はすべての項目で目標値に達しており、子どもが安心できる環境づくりができています。

○指導された場所でのあいさつはよくできる。下級生にやさしく接している児童が多い。

△①②③のどの項目においても、児童と保護者の評価結果に差がある。

△「挨拶」や「相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動」について、家庭では伝えているが、実際はできていないと評価している保護者が多い。

<方策>

- ・児童が楽しみにできる校外学習や異学年、他校との交流活動などの体験活動を積極的に取り入れる。また、それらの活動を通してコミュニケーション能力や相手を思いやる心の醸成を図る。
- ・あいさつ強調週間で、「自分から」を意識した取組と振り返りを実施する。あいさつカードや学級・学校だよりを通して学校でのよい姿を家庭や地域に伝える。
- ・今年度来校する「人権啓発キャラバン隊」の活動を、一人ひとりが学校生活や自分の行動を振り返るチャンスとし、代表委員会を中心に、全校で人権について深く考える機会とする。
- ・「わたしも大事 あなたも大事 笑顔あふれる 中能生小学校」を合言葉に、様々な場面で振り返り、個人だけではなく、「中能生小学校はどうか」という広い視点で行動できるようにする。

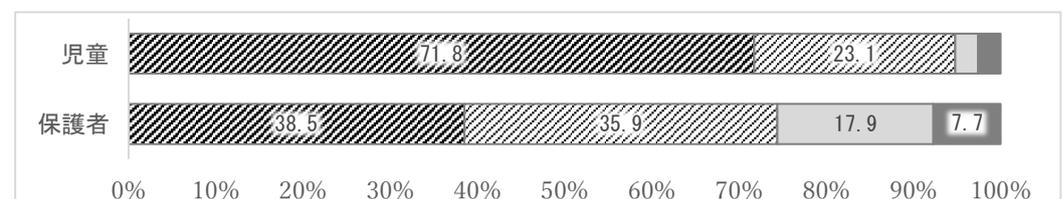
教育目標「鍛えあい」 ～めあてを決め 進んで健康な生活をする子～

☑ア.とてもそう思う ☑イ.そう思う □ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

①「体を動かして遊んだり、運動したりすることが好き」 目標値:肯定的評価(ア、イ) 80%

児童 94.9%◎

保護者 74.4%△

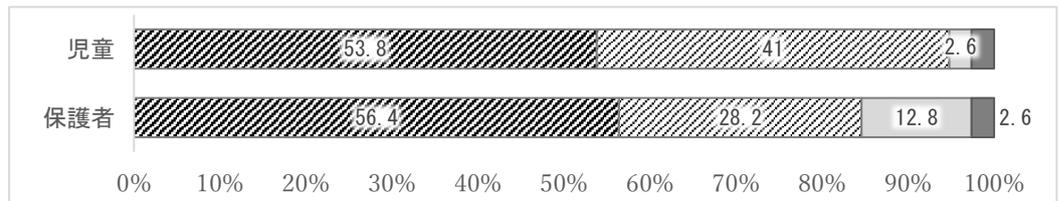


② 「自分の体を知り、めあてをもって取り組んでいる」

目標値:肯定的評価(ア、イ) 85%

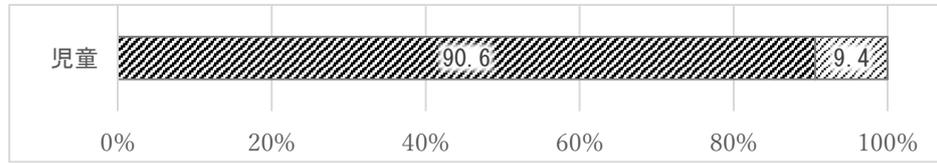
児童 92.3%◎

保護者 84.6%△



③ 個の体力テストの結果が前年度を維持または向上する児童 目標値: 90%

児童 90.6%◎

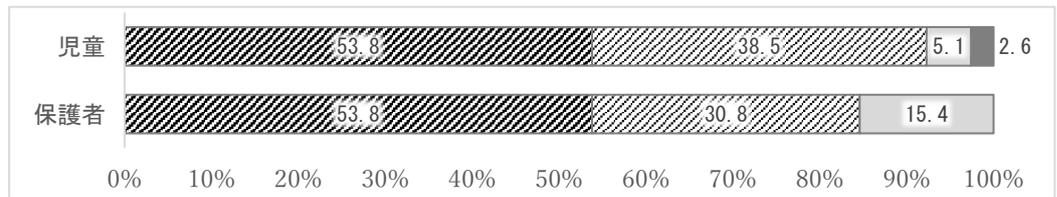


④ 「家族で決めた就寝時刻を守っている」

目標値:肯定的評価(ア、イ) 90%

児童 92.3%◎

保護者 84.6%△



<成果・課題>

○「つくしっ子タイム」に熱心に取り組んだり、学校保健委員会でけん玉を奨励したりするなど、運動環境を整えたため、児童の肯定的評価は高い。

○体力テストや水泳学習など、めあてや数値目標をカードに記入し、児童自らが意識して取り組めるようにした。

△全体的に家庭環境が整っており、規則正しい生活が守られているが、昨年と比べて評価が下がってきている。

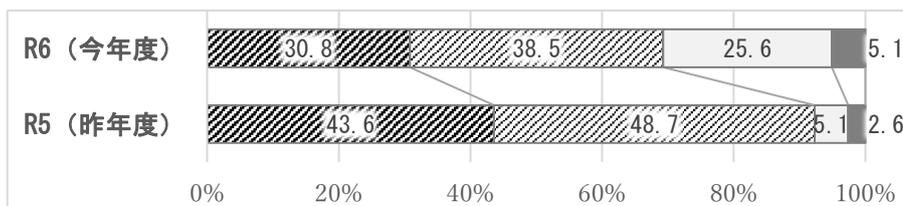
<方策>

- ・体育授業の様子やマラソンカードなどの取組を家庭に知らせ、運動の啓発を家庭に働き掛ける。
- ・児童の頑張りを可視化し、児童が記録向上を励みに意欲的に練習できるように、マラソンや縄跳びカードを工夫し活用する。
- ・「メディア接触 2 時間を守る」の項目について児童と保護者の評価結果の差が大きかった。メディアルールを知らせる呼び掛けは増えているが、改善されていない。引き続き、かがやき週間や保健教育で働き掛けていくと同時に、取組の工夫を図り、マンネリ化を防ぐ。

児童アンケート「その他」の回答から

■ア.とても思う ■イ.そう思う □ウ.あまり思わない ■エ.全く思わない

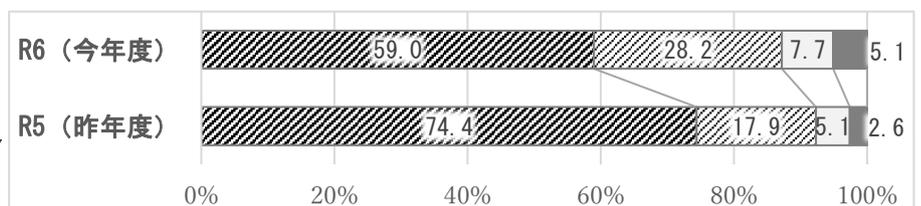
① 「家では自分の仕事が決まっています、毎日している」



昨年度は、92.3%(36名)の児童が家で自分の仕事をしていると回答しましたが、今年度は69.2%(27名)と大きく減りました。お手伝いについて、ご家庭と連携し推奨していきたいと考えます。

② 「学校のことでは伝えなければならないことを家で伝えている」

昨年度は、92.3%(36名)の児童が家で学校のことを伝えていると回答しましたが、今年度は87.2%(34名)と減りました。



＜保護者自由記述より「子どもが成長したと感じるところ」＞ （一部抜粋）

| | 【学習面】 | 【生活面】 | 【体力・運動面】 |
|-----|---|---|--|
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校で教わったことが身に付いてきている。 ・読むことが上手になった。 ・自分から進んで宿題や音読を嫌がらずやっている。 ・難しい言葉を覚えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いしたいと自分から言ってくれるようになった。 ・帰ってきてから言わなくても自分からおたよりや連絡帳を見せてくれるようになった。 ・準備や身支度を率先してやっている。 ・前よりも自分で考えて動くようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身長が伸びた。 |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・宿題の内容を一緒に確認しなくても、自分で把握していて、一人でやれることが増えた。 ・自分から進んで発表代表に手を挙げて引き受けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人の気持ちを考えるようになった。 ・親の言うことに理解を示すようになった。 ・下級生の面倒をきちんとみている。 ・友達との関わり方（相手の気持ちを考えたり大切さを理解し始めたりしてきた）。 ・複式学級で先輩の自覚が芽生えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・水泳。 ・少しずつ体力が付いてきた。 |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・自学の取組が前に比べて自主的に行えるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事に自分から挑戦したいという気持ちが出てきている。 ・調整能力。 ・調理実習で料理をしたことで興味をもって手伝ってくれるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・けん玉を経験して家でも頑張って練習して技や回数を伸ばしている。 |

＜保護者の皆様からのご意見・ご要望等＞

～ご意見ありがとうございます～

●**統合について、PTA などで話し合う機会が欲しい。地域から学校がなくなると寂しいといった意見も耳にするが、子どもたちのことを考えると複式ではなく、望ましい学習環境の中で学んでもらいたい。**

→小規模校のメリット、デメリットを踏まえ、「子どもたちにとってよりよい学校での学びは何か」という議論を重ねていけるとよいですね。保護者・地域の方々からいただいたご意見は市に伝えていきます。

●**全校を対象とした道徳の学習が時々あってもいいかなと思う。**

→道徳は、各学級で週1時間実施しています。全校では、ファミリー班活動や「人権キャラバン」「つくしっ子タイム」などを行い、心の耕しを図っています。子どもたちの様子はその都度お便りやHP等で紹介していきます。

●**野菜づくりや買い物、地域の人と関わったことなどたくさん話してくれています。いろいろなことを経験させてくださりありがとうございます！地域のことを知って、自分の住む能生を好きになってほしいと思います。**

→「地域の人とのかかわり」や「ふるさとを愛する心の育成」は中能生小の教育でとても大事にしていることです。様々な交流や体験活動が、お子さんの生きる力につながっていることを嬉しく思います。

●**能生小学校の子どもたちがプールに来ていたので、交流の機会があればいいのになとも思います。人数が多くないと経験できないこともあると思うので。**

→1学期は、南能生小や磯部小と一緒に授業交流をする機会がいくつかありました。2学期は能生小も含め能生中学校区の小学校で体育の授業交流を計画しています。互いの学校が無理のない範囲で交流できる機会を今後も探っていきたいと思います。

●**運動会は学校行事なのに、保護者がいなければ運営ができていないことに疑問を感じる。**

→ご指摘の通り、中能生小の運動会は、多くの方々から手伝っていただかないと成立しないのが現状です。子どもと教職員だけで運営するとなると、内容を大きく変更（削減・縮小）していく必要があります。その点を踏まえた上で、保護者の皆様からもご意見をいただきながら検討していきます。

●**どの先生も子どものことをよく見てかかわってくださっていることが子どもからの話でよく分かります。毎日安心して通わせる事ができています。ありがとうございます。**

→温かい励ましのお言葉をありがとうございます。これからも全職員で力を合わせ、子どもたちのために、グランドデザインの具現を目指していきます。保護者の皆様、地域の皆様のご協力を今後もよろしくお願いいたします。